

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【 施策名：Ⅱ計画・設計・施工の最適化 【3】民間技術の積極的な活用 施策12 】

橋梁用高性能鋼材（BHS鋼）の採用によるコスト構造の改善

工事名：東京港南部地区臨海道路橋梁上部築造工事（その3）他

概要：（従来）SM570鋼 ⇒ （新）BHS500鋼

効果：橋梁の部材に、溶接施工性がSM490鋼と同程度で、降伏強度がSM570鋼より大きいBHS500鋼を採用することにより、鋼材重量の低減及び溶接作業効率の向上によるコスト構造の改善を図った。

◆工事費を6,088百万円から5,800百万円に改善
（改善額 288百万円、改善率 約4.7%）

東京港臨海大橋(仮称)イメージ



BHS鋼材の採用例

